



証券コード：5742

第51期 事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第51期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

経営環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な半導体不足が継続していることにより、半導体関連業種では活発な受注環境となっておりますが、2年以上に渡る新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響やロシア・ウクライナ紛争をはじめとする新たに発生した様々なグローバル要因により、世界的に多様な産業における生産設備投資等が2～3年先延ばしとなっている状況であり、総じて、生産設備投資は低調に推移いたしました。

通期連結業績

当社の主力製品「アルファフレームシステム^{*1}」の販売は堅調に推移いたしました。装置部門のFA装置^{*2}関係は、生産設備投資が低調な状況下においても様々な引合案件があるものの、原材料価格の高騰、半導体不足による制御機器等の納期遅延や調達部品の不足等による代替品での対応等は、生産コストに大きな影響を及ぼし、厳しい受注活動が続きました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は7,432百万円（前期比111.8%）、営業利益は255百万円（前期比117.3%）、経常利益は267百万円（前期比121.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益は248百万円（前期比182.5%）と、厳しい生産環境下においても前期比で増収増益を確保いたしました。

なお、連結子会社であるNIC Autotec (Thailand) Co., Ltd.の解散及び清算決定に伴う特別損失39百万円を計上しておりますが、同社の解散及び清算に伴い回収可能性があるかと判断した将来減算一時差異について

※1 アルミニウム合金製構造部材のアルミフレーム及びアルミフレーム同士を結合するブラケット等の補助部品システム

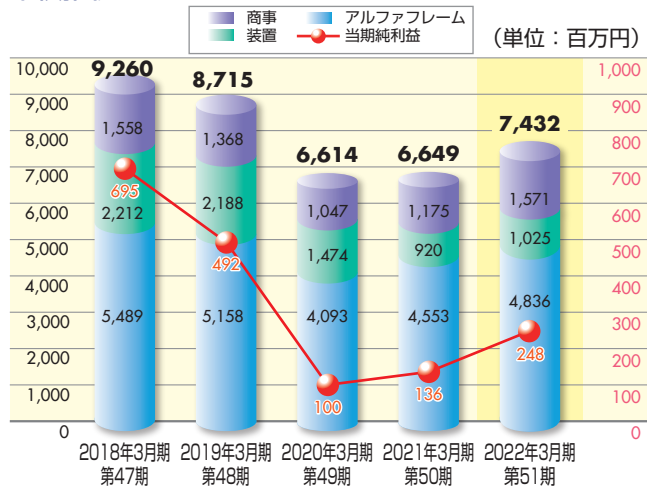
※2 Factory Automation：自動化・省力化装置

繰延税金資産並びに法人税等調整額をそれぞれ104百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が増加しております。

また、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等の適用による売上高及び各利益への影響は軽微であります。

ところで、生産の効率化・最適化を図ることを目的に、2021年7月より立山第3工場（富山県中新川郡立山町利田）の建設工事を進めてまいりましたが、当初の予定どおり2022年3月末に竣工し、2022年4月より稼働を開始いたしました。

業績推移



配当金

当社は、将来の収益力向上を図るために継続的な研究、開発投資を行いながらも内部留保の確保を図りつつ「株主に対する利益還元」を重要な経営課題の一つとして捉え、経営成績やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく設備投資や研究開発活動に充当する予定であり、資金を有効に活用して企業価値向上を図ってまいりたい方針であります。これらの方針に基づき、1株あたり中間配当金20円、期末配当金21円、年間配当金として41円とさせていただきます。

なお、今後とも株主の皆様のご支援に報いるよう、事業の発展に努めてまいります。

中期経営計画

当社は、柱となる事業分野におけるビジネス基盤を強固なものにするとともに、新規取り組みにも果敢に挑戦することによって技術力を高め、高品質・高付加価値製品を提供し、さらなる業績向上、企業価値創造を目指した事業展開を中期経営計画の基本方針としております。

当社を取り巻く経営環境は、2年以上に渡るCOVID-19の影響や新たに発生した様々なグローバル要因により、世界的に生産設備投資が低調に推移しているものの、このような状況を捉えて生産設備等を刷新及び革新する動きが加速化しているため、今後、持続的に2年から3年以上かけて緩やか、かつ継続的に伸長していくと予想しております。なお、生産の自動化においては、今までの大量生産に適した生産設備とは異なり、多品種、変種変量生産に適した新たな生産設備へのニーズが、かつてなく高まりを見せている状況であることから、新たなステージの生産方式へ移行していくと考えております。

以上より当社は、2023年3月期をフレキシブルに対応できる新しいFAシステムの『開発元年』の期間と位置付け、従来の中期経営計画（2021年3月期～2023年3月期）における基本的な方針及び経営戦略を継承しつつ、今後のニーズに適合すべく新たに2023年3月期から2025年3月期までの3年間を対象とする中期経営計画を策定し、2022年

4月1日に「中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の策定について」を公表いたしました。

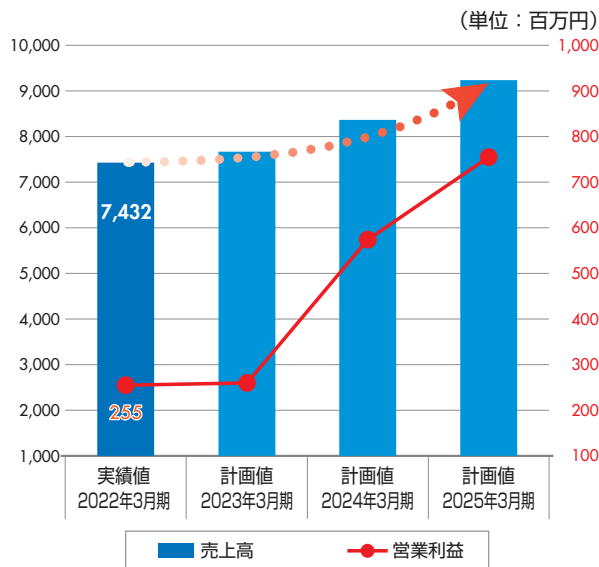
このように、製造業では今後、新たなステージの生産方式に対する投資が旺盛になっていくことが見込まれておりますので、当社はこれらニーズを的確に捉え、アルファフレームシステム及びFA装置の案件に対する受注活動に注力するとともに、さらなる生産体制の強化を図り、業績の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役会長CEO 西川 浩 司

中期経営計画の業績数値目標



将来的な目標数値

- ・株主資本利益率（ROE） 15%以上
- ・1株あたり当期純利益（EPS） 140円以上

Description of Business

事業内容 (3部門)

地球環境にやさしくリサイクル性に優れたアルミ構造体「アルファフレーム®システム」の
開発・設計・製造・販売を行う **アルファフレーム部門**。

アルファフレーム®の特長を活かし、各種工場で使用されるFA装置(洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置)及び
クリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行う **装置部門**。

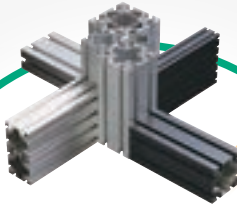
上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う **商事部門**。
これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。



装置部門

特定の業界に依存しない
業務体系

先端技術力を持つ企業
からの積極的な受注



アルファフレーム部門

経験豊富なCAD設計陣による
技術設計支援・サービス

豊富な製品群“1,500以上”に
よる多彩なシステムの提供

High value-added technology
高付加価値技術



商事部門

「メーカー機能」を活用した
設備の導入提案営業

工業用砥石を中心とした
工業生産財の提供



ALFA FRAME® SYSTEM

取り付け位置を教えてくれる「マーキングシステム」

Marking System™

アルミフレーム・トータルサポート・サービス「カクチャ」

KAKCHAR™



アルファフレーム部門

日本の自動化装置業界で長年の実績を持つアルミ構造体モジュール&システム『アルファフレーム®システム』は、多種のアルミニウム合金製フレームとその接続ブラケット及びアクセスリバーパーツで構成された機械構造用部材です。各種装置の筐体やカバーを製作するための最適なフレーム、パーツを揃えております。

お客様の効率化を適切にフォローする「カクチャ™」、組立に必要な情報をフレームにプリントする「マーキングシステム™」、「ナット付フレーム」などのサービス拡充により、アルファフレーム導入の促進に貢献いたしております。

● アルファフレームの優れた特長

① 充実した製品群

幅広い製品ラインアップで、お客様のあらゆるニーズにお応えいたします。

② 仕様変更等も容易

急な設計変更や将来の増設にも容易かつ柔軟に対応することが可能です。

③ 幅広い分野に適応

機器取付部材の材料、作業台など多彩な分野の工業用品で使用されております。



マーキングシステム

装置筐体

設計代行から組立・現地据付まで、あらゆる場面でお客様をサポート
アルミフレームの『サービス革命』 KAKCHAR “カクチャ”



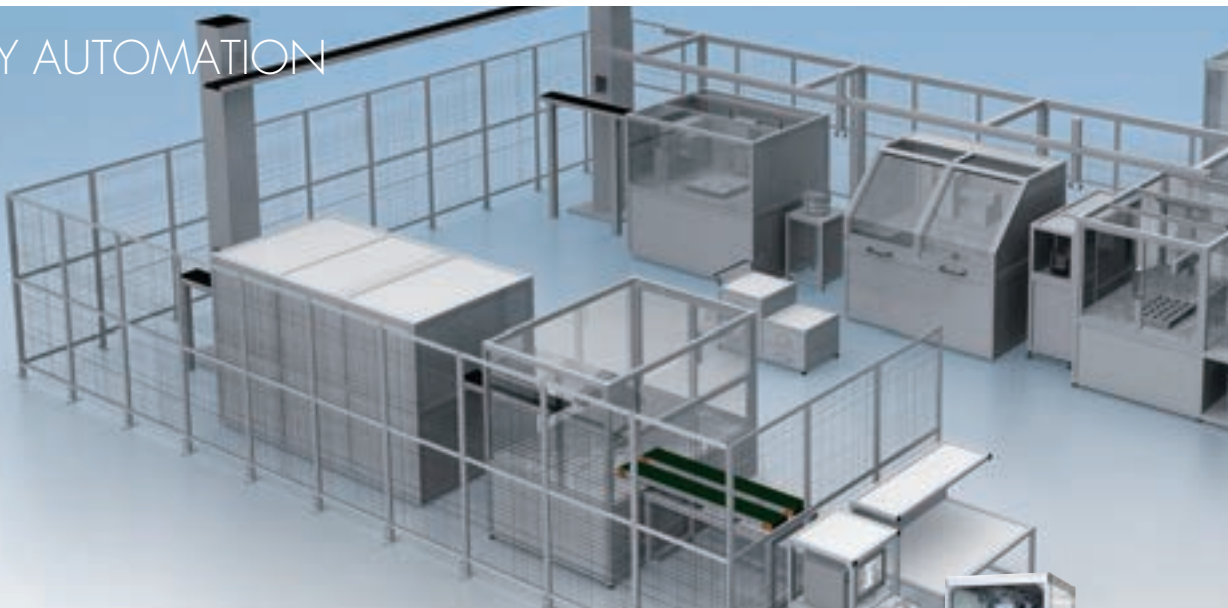
NICオリジナルCADシステム



組立アウトソーシング

※ カクチャ・マーキングシステムの詳細については、当社WEBにてご確認ください。

FACTORY AUTOMATION



装置部門

新たな分野へ積極的に参入することでノウハウの蓄積を行い、半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じたFA装置（洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置）及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。

「アルファフレーム®システム」を基本部材として使用することにより、各種装置製作の効率化や短納期化が可能となります。また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応した様々な製品開発も行っております。



NCR215
ロータリーテーブルタイプ

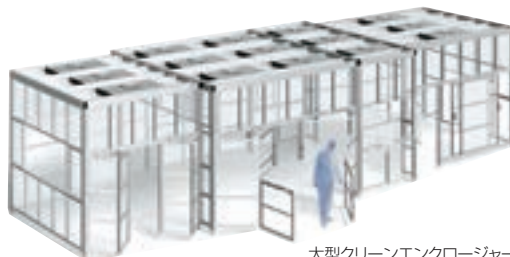


NCU211
上部投入タイプ



NCL218
ロータイプ

カップ式洗浄機 NCシリーズ



大型クリーンエンクロージャー

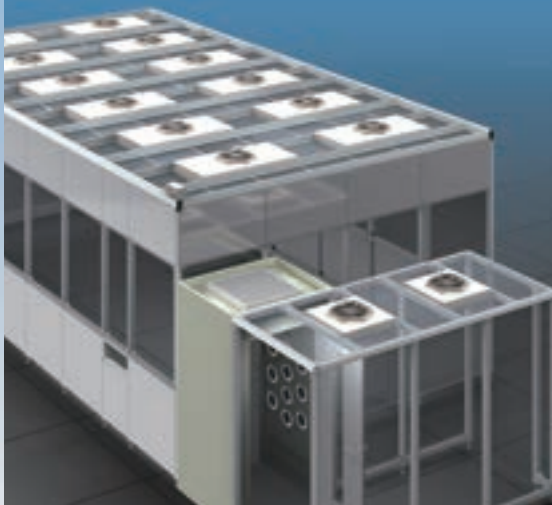


折り曲げ装置

PRODUCTION GOODS



Clean Technology



FA Technology



CRL318E
上下部回転ノズル式ブロー乾燥



CRM300
下部回転ノズル式ブロー乾燥

カップ式ブロー機 CRシリーズ



検査洗浄ライン

商事部門

工業用砥石、工具・ツールなどの消耗品と工場等の機械設備を提供いたしております。

工業用砥石、やすり、工具・ツールなどの消耗品は、リピート受注が多いことが特長となっており、この安定した消耗品関係ビジネスが、当社の安定的な収益にも大きく貢献いたしております。

また、装置部門との連携により当社製品を活用した機械設備(生産ライン)の導入提案等を行い、多種多様なお客様のニーズにお応えする製品を提供いたしております。



工具・ツール



油脂類



工業用砥石

立山第3工場 2022年4月稼働開始



所在地 : 富山県中新川郡立山町利田
敷地面積 : 9,970 ㎡ (約3,016 坪)
構造 : 鉄骨造/地上2階
延床面積 : 4,578 ㎡ (約1,385 坪)

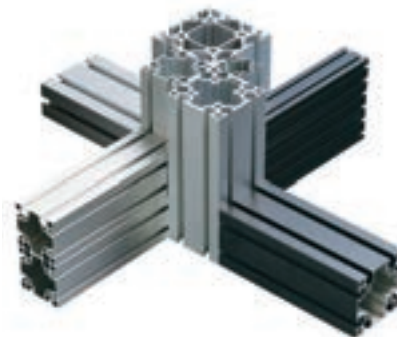
※2022年2月4日に当立山第3工場の隣地4,864㎡の取得を決定いたしましたので、将来的には当工場の敷地面積は、14,834 ㎡ (約4,487 坪) となります。

当立山第3工場は、FA装置（洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置）、クリーン装置（クリーンブースやクリーンベンチ等のクリーン関連機器）及びロボット関連装置・機器等の設計・製作の拠点（FA機器設計製作工場）として、稼働を開始いたしました。

なお、当立山第3工場の稼働に伴い、富山県中新川郡立山町地区内の他の2工場の名称を、立山第1工場（旧：立山工場）、立山第2工場（旧：立山事業所）へ変更しております。

また、富山県内の4工場の構造及び既存設備、これに伴う生産効率並びに今後の営業展開による受注状況等を勘案し、以下のとおり各工場の役割・生産体制を再構築いたしました。

工場名	業務・生産内容
流杉工場	機械加工部品及び量産部品等の生産工場
立山第1工場 (旧：立山工場)	AF生産工場 アルファフレームシステムの生産及び物流工場
立山第2工場 (旧：立山事業所)	大型構造物等生産工場 大型構造物及び小型ロボット専用アルミ架台等、筐体の組立工場
立山第3工場 (新設)	FA機器設計製作工場 FA装置、クリーン装置及びロボット関連装置・機器等の設計・製作



国内9拠点

国内拠点のご案内



立山第1工場 (旧:立山工場)
開発センター
富山県中新川郡
立山町塚越398-176



富山本社
流杉工場
富山県富山市
流杉255



立山第2工場 (旧:立山事業所)
富山県中新川郡
立山町前沢2178-1



立山第3工場 (新設)
富山県中新川郡
立山町利田161



アルファフレーム九州
福岡県大牟田市
四箇新町1-2



アルファフレーム関西
大阪府東大阪市
本庄西2-4-29



アルファフレーム北関東
埼玉県児玉郡
神川町元阿保309



東京本社
東京都江東区
有明3-7-26
有明フロンティアビルB棟11階



愛知事業所
愛知県清須市
清洲田中町167



連結貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目		金 額
資 産 の 部		
流 動 資 産		4,336,086
固 定 資 産		4,377,123
有 形 固 定 資 産		3,843,579
無 形 固 定 資 産		37,796
投 資 そ の 他 の 資 産		495,747
資 産 合 計		8,713,210
負 債 の 部		
流 動 負 債		2,085,320
固 定 負 債		1,988,383
負 債 合 計		4,073,703
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		4,569,144
資 本 金		156,100
資 本 剰 余 金		145,636
利 益 剰 余 金		4,302,199
自 己 株 式		△ 34,791
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額		70,329
非 支 配 株 主 持 分		32
純 資 産 合 計		4,639,506
負 債 及 び 純 資 産 合 計		8,713,210

連結損益計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：千円)

科 目		金 額
売 上 高		7,432,884
売 上 原 価		5,954,645
売 上 総 利 益		1,478,238
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,222,538
営 業 利 益		255,700
営 業 外 収 益		22,534
営 業 外 費 用		10,309
経 常 利 益		267,925
特 別 損 失		39,536
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		228,389
法 人 税 等		△ 20,419
当 期 純 利 益		248,809
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益		△ 36
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益		248,846

連結株主資本等変動計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本					そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額			非 支 配 分 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 の 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当 期 首 残 高	156,100	145,636	4,276,743	△ 34,791	4,543,688	70,169	20,902	91,072	68	4,634,829
連 結 会 計 年 度 中 の 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			△ 223,390		△ 223,390					△ 223,390
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益			248,846		248,846					248,846
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 期 変 動 額 (純 額)						△ 22,718	1,976	△ 20,742	△ 35	△ 20,777
連 結 会 計 年 度 中 の 変 動 額 合 計	—	—	25,455	—	25,455	△ 22,718	1,976	△ 20,742	△ 35	4,677
当 期 末 残 高	156,100	145,636	4,302,199	△ 34,791	4,569,144	47,450	22,879	70,329	32	4,639,506

会社の概要 (2022年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	1971年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	連結242名
事業所	
本社 / 流杉工場	富山県富山市流杉255番地
東京本社	東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
立山第1工場 (旧:立山工場)	富山県中新川郡立山町塚越398番地176
立山第2工場 (旧:立山事業所)	富山県中新川郡立山町前沢2178番地1
立山第3工場	富山県中新川郡立山町利田161番地
愛知事業所	愛知県清須市清洲田中町167番地
アルファフレーム北関東	埼玉県児玉郡神川町元阿保309番地
アルファフレーム関西	大阪府東大阪市本庄西二丁目4番29号
アルファフレーム九州	福岡県大牟田市四箇新町一丁目2番地

海外子会社

NIC Autotec (Thailand) Co., Ltd. タイ王国バンコク都
(清算手続き中)

役員構成 (2022年6月25日現在)

代表取締役会長	CEO	西川浩司
取締役社長	COO	西尾謙夫
専務取締役	CTO	野村良一
常務取締役		藤井透基
社外取締役		伴基
常勤社外監査役		横溝和久
社外監査役		白石康広
社外監査役		吉田泰三

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ
東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
丸の内二重橋ビルディング

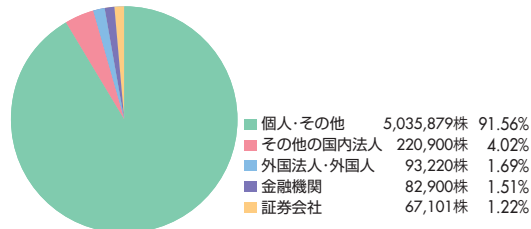
株式の状況 (2022年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 20,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 普通株式5,500,000株
 (自己株式51,446株を含む)
 (3) 株主数 2,534名
 (4) 大株主の状況

株主名	持株数
西川浩司	3,704,900株
三協立山株式会社	100,000株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	91,500株
大野新司	83,000株
近藤雅介	81,400株
ガイドー株式会社	70,000株
MSIP CLIENT SECURITIES	61,500株
株式会社三井住友銀行	50,000株
西川武	50,000株
植田潤次郎	45,000株

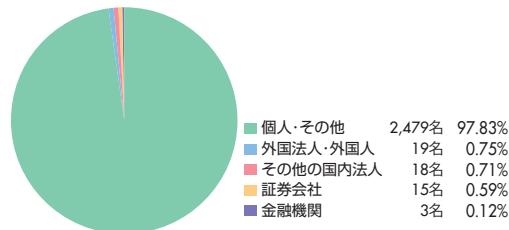
(注) 上記大株主のほか、当社は自己株式51,446株を保有しております。

(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)



(注) 自己株式51,446株は、「個人・その他」に含まれております。

(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

証券コード	5742
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品 取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.nic-inc.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子 公告によることができないときは、日本経済新聞 に掲載いたします。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 照会先受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日及び12/31～1/3を除く)
個人のお客様/ 株式に関する手続き	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(株式に関するよく あるご質問(Q&A))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

■ ホームページのご案内

- 当社の詳細情報はホームページをご覧ください。

エヌアイシ

<https://www.nic-inc.co.jp/>

- アルファフレーム®の当社直販サイト

<https://ssl.nic-direct.jp/>

